

# 伝える力がアップする！

## ☆☆☆チャレンジ国語☆☆☆

### 1

- |   |     |   |   |    |    |      |   |   |    |
|---|-----|---|---|----|----|------|---|---|----|
| 1 | 知識1 | ( | 月 | 日) | 7  | 活用3  | ( | 月 | 日) |
| 2 | 知識2 | ( | 月 | 日) | 8  | 活用4  | ( | 月 | 日) |
| 3 | 知識3 | ( | 月 | 日) | 9  | 活用5  | ( | 月 | 日) |
| 4 | 知識4 | ( | 月 | 日) | 10 | 活用6  | ( | 月 | 日) |
| 5 | 活用1 | ( | 月 | 日) | 11 | 活用11 | ( | 月 | 日) |
| 6 | 活用2 | ( | 月 | 日) |    |      |   |   |    |

なぜ、この答えになるのだろう。

自分の答えとの違いを考えてみよう。

- ※ 計画を立てて取り組みましょう。
- ※ 解答例 (p. 36～) が付いています。  
やり直しまでがんばりましょう！



年	組	番	名前	
---	---	---	----	--

年	組	番	名前
---	---	---	----

1 村上さんは、車で図書館への行き方をたずねられました。次の【二人の会話】で、村上さんはどのように説明していますか。その説明として適切なものを、あとの1から5までのの中から二つ選んで、その番号を書きましよう。

【二人の会話】

すみません。図書館へ行きたいのですが、どう行けばよいでしょうか。青山橋の先にあると聞いています。

はい。青山橋までの行き方は分かります。でも、その先の行き方が分からないのです。

そうですか。では、その橋をわたってまっすぐ行くと左手に警察署が見えます。そこを左に曲がるとすぐに図書館が見えてきます。

青山橋までの行き方は分かりますか。

村上さん

村上さん

- 1 徒歩での時間を示した上で説明している。
- 2 図書館の様子をくわしく説明している。
- 3 相手の知識を確認した上で説明している。
- 4 目印になるものを示して説明している。
- 5 交差点の数を確認しながら説明している。

--	--

2

増田さんは、ケンとアンが宝物を探す物語を書くこととして、構成の「中」の部分にくふうしました。次の【物語の構成】をよく読んで、増田さんのくふうの説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【物語の構成】

はじめ	ケンとアンは、村に伝わる宝物の話をおじいさんから聞き、宝探しに出かける。
中	<p>① 一日かけて、草原で第一の宝箱を見つける。箱の中には、宝物ではなくカギと紙きれが入っている。</p> <p>② 二日かかりで、山で第二の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っている。</p> <p>③ 三日かかりで、川で第三の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っている。</p> <p>④ 四日かかりで、海で第四の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っており、今まで見つけた紙きれを全て合わせると、宝物の場所を示す地図になることに気づく。</p>
終わり	ケンとアンは、村に伝わる宝物を見つける。しかし、二人にとっては「友情」が一番の宝物となった。

1 現在と過去を行き来して書き、読者に出来事のつながりが少しずつ分かるようにしている。

2 出来事に変化を加えながらくり返して書き、読者が展開に期待をもって読めるようにしている。

3 物語の結末の場面から書き、読者が展開に興味をもって読めるようにしている。

4 時間の流れとは反対の順序で書き、読者に出来事のきっかけが分かるようにしている。



年	組	番	名前
---	---	---	----

3 山本さんと川上さんは、「オムレツのページ」を読み、家でオムレツを作りました。次の「オムレツのページ」と「オムレツを作ったあとの感想」をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【オムレツのページ】

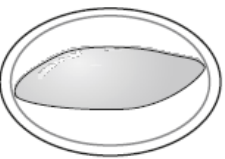

ふんわりやわらか  
**オムレツ**  
(調理時間約10分)

**材料 (一人分)**

卵……………2個  
バター……………5グラム  
塩……………少々  
こしょう……………少々

**作り方**

- ボウルに卵を割り入れ、溶きほぐし、塩、こしょうで味つけをする。
- 直径18cmほどの小さめのフライパンを強火にかけ、温まったら弱火にしてバターを入れる。バターが溶けきる前に卵を一気に流し入れる。
- フライパンを前後に動かしながら、さいばしで円をえがくように手早く混ぜる。このとき、火が入り過ぎないように、ときどきフライパンを火からおろす。
- 表面が半熟状になってきたら、フライパンの手前側の卵を向こう側へ折り返す。
- 向こう側の卵を手前に折り返す。
- 卵のとじ目が下になるようにお皿に移したらでき上がり。

**ポイント**

- 卵をよく溶きほぐすためには泡立て器を使うのがこつ。黄身と白身がよく混ざり、でき上がったときにむらがなくなります。
- フライパンに卵を入れるときにチーズを入れると、チーズオムレツを作ることできます。

【オムレツを作ったあとの感想】

「作り方」のとおりには卵を溶きほぐしたのに、黄色いきれいなオムレツにならなかったな。次は白いところが残らないようにしたいな。



山本さん

少しこげてしまったから、今度はこげないようにしたいな。どこに気をつけたらよいのだろう。



川上さん

(問い) 山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために、「オムレツのページ」をもう一度読むことにしました。二人はそれぞれ、どのように読めばよいですか。最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 「材料」の分量を正確に読む。
- 2 文章全体の内容を表す大きな見出しを読む。
- 3 「作り方」の中から必要な内容を探しながら読む。
- 4 絵と文章を結びつけながら読む。
- 5 「ポイント」に書かれた内容に着目して読む。

山本さん……

川上さん……

中西さんは、武鹿悦子さんが書いた「くらやみの物語」を読み、心に残ったことについて説明することにしました。次の【物語の一部】をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

## 【物語の一部】

## ■物語のこれまでのあらすじ

五年生の夏休みの終わりに、コウタは、カクロウをふくめた塾の仲間と花火大会を計画していた。お金を出し合って買った花火は、コウタの家の物置に入れていた。しかし、その花火は計画の当日にコウタの母親に見つかり、水につけられてしまう。コウタは、そのことをカクロウに伝え、カクロウと自転車仲間のもとに向かい、報告をする。そこでコウタは仲間の一人に厳しくせめられてしまう。

「気にするなよ。」

と、カクロウはいった。

「のれよ。」

コウタは、くびをふった。

そうか、と行って、カクロウは、気がかりそうにふり向きながら遠ざかっていった。

(家になんか帰るもんか。)

コウタは、歩きだした。

(……だれもいないところへ行くんだ。)

家なみが切れて山道にかかると、カナカナと、草むらの虫の声が、はりさけそうにひびいてきた。

草がそよぎをどめ、草の穂波の向うに沈む夕日が、あたり一面を火の海にしている。

正面から夕日にむかうとき、コウタは、目をほそめ小手をかざして歩いた。

セミ採りに一、二度きたことのある小さいトンネルが見えてくると、コウタは、かけこんでいって思いっきり声でさけんだ。

(武鹿悦子「くらやみの物語」による。)

(問い) 中西さんは、特に心に残った文として、部を取り上げ、その理由について説明

しようと考えています。理由として最も適切だと考えられるものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

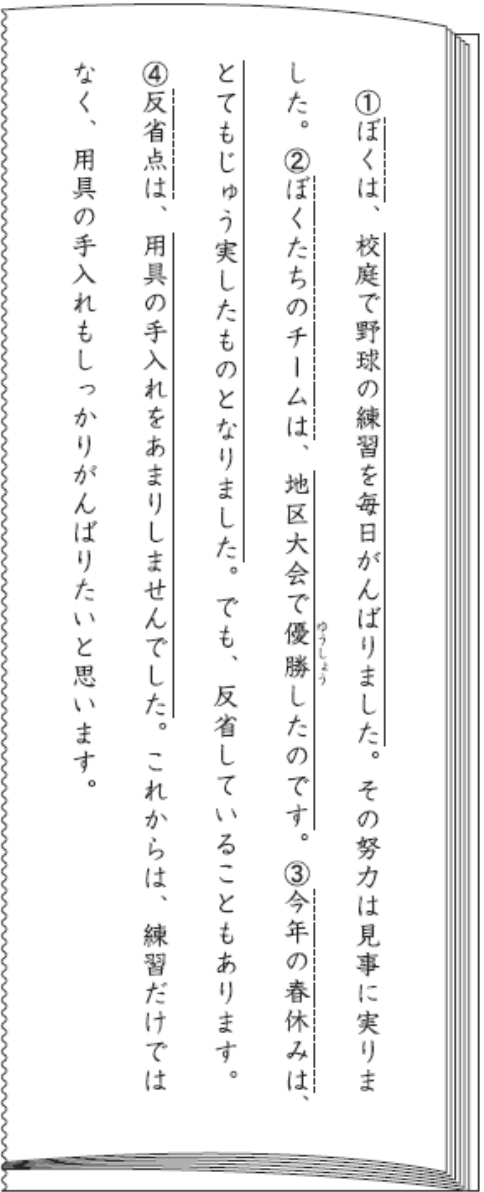
- 1 登場人物の行動から、コウタのあわてている様子が伝わってくるから。
- 2 景色や様子を表す表現から、コウタのいかりやくやしさが伝わってくるから。
- 3 音を表す表現から、山の静けさと海の激しさが伝わってくるから。
- 4 登場人物の会話から、おたがいを思う気持ちや伝わってくるから。



年	組	番	名前
---	---	---	----

5 大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、-----部と-----部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。次の「春休みの出来事の一部」をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【春休みの出来事の一部】 文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。



(問い) -----部と-----部とのつながりが合っていない文の番号を、①から④までの中から一つ選んで書きましょう。また、-----部はそのままにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

選んだ文の番号……

書き直した一文

6

北村さんは、読んでいた本の中に出てきた表現の意味と使い方をカードにまとめています。北村さんが書いた【カード】の **ア** ・ **イ** の中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から4までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【カード】

<b>心を打たれる</b>	
◆意味：	ア
◆使い方：	イ

ア

- 1 一つのこと集中する。
- 2 遠りよする。
- 3 感動する。
- 4 あれこれと心配する。

イ

- 1 オーケストラの演奏をきき、心を打たれる。
- 2 地域の発展のために、長い間、心を打たれる。
- 3 相手に失礼のないように心を打たれる。
- 4 同級生に心を打たれることなく相談する。





矢野さんは、見学したことをノートにまとめています。次の【ノートの一部】をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【ノートの一部】

おかし店の見学に行って分かったこと

○ 調理場には、生地を練る機械など、ア せい造に必要な イ せつ備がある。

○ 衛生を保つために、調理器具などを一日に何度も ウ しょう毒する。

○ お客さんにおいしいおかしを食べてもらうために、品質をしっかりと エ かん理している。

○ 地元の野菜や果物などを使った新しいおかしを オ せつ極的に開発している。



（問い）

【ノートの一部】のアからオの

部は、

どのような漢字を使って書きますか。

部と同じ漢字を部に使って書く文として最も適切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

- ア 1 せい限時間に気をつける。  
 2 新せい品の価格を調べる。  
 3 道具箱の中をせい理する。

- イ 1 新しい規則をもうける。  
 2 劇のやくの希望を聞く。  
 3 遠くへボールをなげる。

- ウ 1 細かい説明をはぶく。  
 2 ノートの文字をけす。  
 3 運動会で赤組がかつ。

- エ 1 かん成した作品を先生に見せる。  
 2 近くの警察かんに道をたずねる。  
 3 ビーカーと試験かんに水を洗う。

- オ 1 三角形の面せきを求める。  
 2 大会でよい成せきを残す。  
 3 せき任の重い仕事をする。

エ	ア
オ	イ
	ウ

年	組	番	名前
---	---	---	----

1 青木さんの学級では、食生活について興味をもったことを調べ、学級の友達に発表をすることにしました。青木さんは、インスタント食品について調べています。次は、「青木さんの考え」です。

【青木さんの考え】

インスタント食品にはどのようなよさがあるのだろう。ぼくは、簡単に作る  
 ことができておいしいところだと思うけれど、他の人は、どのようなよさを  
 感じているのかな。家でも食べることがあるから、家の人に聞いてみよう。



青木さんは、取材をして情報を集めています。次は、青木さんが取材をした「家の人の話」、  
 「スーパーマーケットの店長の話」、「一人暮らしの森さんの話」と、青木さんの「メモ①」、  
 「メモ②」、「メモ③」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【家の人の話】

インスタント食品は、調理が簡単にできるから、  
 いそがしいときには助かっているよ。それに、ずいぶん  
 味がよくなったと思う。  
 それだけではなくて、軽くて持ち運びが楽とい  
 うところもあるわね。キャンプや登山に行くときには、  
 カップラーメンやカップスープが便利だよ。他にも、  
 いろいろな種類が売られているようね。



いろいろな種類が売られている、と言って  
 いたけれど、どのようなインスタント食品が  
 あるのかな。近所のスーパーマーケットの人に  
 聞いてみよう。

【メモ①】

- 4/17 (金)
- 取材をした相手  
家の人
  - インスタント食品のよさ
    - ・軽くて持ち運びが楽
    - ・いろいろな種類がある

【スーパーマーケットの店長の話】

いろいろなインスタント食品がありますよ。最近では、次々に新製品が発売され、カレーやシチュー、パスタなど、いろいろな種類があり、好みに合わせて選ぶことができますと好評です。

また、フリーズドライという製法で作られたものがありますよ。調理が簡単でただけではなく、栄養価が保たれ、もとの味やかおりとほとんど変わらないという特徴があります。

インスタント食品は、一食分で売られているものが多いので、一人暮らしの方もよく買われているみたいですよ。

一人暮らしの人もよく買っている、と言っていたけれど、一人暮らしの人が感じているよさも知りたいな。近所の森さんに聞いてみよう。



店長

【メモ②】

4/18 (土)

○取材をした相手

スーパーマーケットの店長

○インスタント食品のよさ

- ・好みに合わせて選ぶことができる
- ・カレー、シチュー、パスタなど
- ・フリーズドライ製法は
- ・栄養価が保たれる
- ・もとの味やかおりとほぼ変わらない



【メモ③】

4/19 (日)

○取材をした相手

一人暮らしの森さん

○インスタント食品のよさ

- ・一人分だけ作ることができるから作りすぎない
- ・食材をむだにすることが少ない
- ・長持ちするから
- ・買い置きができる



森さん

【一人暮らしの森さんの話】

インスタント食品は、調理が簡単です。一人分だけ作ることができるので、作りすぎたり、食材をむだにしたりすることが少なくて助かっています。

それに、年をとると買い物に行くのも大変ですが、インスタント食品は長持ちするので、買い置きができて便利です。

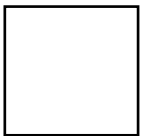
一 青木さんの取材の進め方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 疑問を解決するために、必要な情報を得ることができそうな相手を選んで取材をしている。

2 くわしい情報を得るために、一度意見を聞いた相手にくり返し取材をしている。

3 どのような傾向があるのかを数値を使って示すために、多くの人に取材をしている。

4 多様な考えを知るために、賛成と反対の両方の立場の人に取材をしている。







年
組
番
名前

2 岩田さんの学級では、生活の中で気になったことについて調べています。岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、ごみを減らすための行動について学級の友達に提案することになりました。次は、岩田さんが書いている文章の【下書き①】と【下書き②】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【下書き①】

提案します わたしたちにできる「プラスチックの3 R週間」

■ 知っていますか プラスチックごみの問題

わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジぶくろなどです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができています。

しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べてしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることにア**ひじょう**におどろきました。かん境省のホームページによると、世界のプラスチック容器の生産量は、1964年は1500万トンだったのが、2014年には3億1100万トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。

プラスチックは時間がたつと分解されてなくなるだろうと考えている人がいるかもしれません。けれども、

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えをイ**あらため**、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、わたしたちにできる「プラスチックの3 R週間」を提案します。3 Rとは、ごみそのものを減らすリデュース (Reduce)、くり返し使うリユース (Reuse)、ごみを資げんに変え、再び利用するリサイクル (Recycle) のことです。

わたしたち一人一人の力はとても小さいかもしれませんが、しかし、その力が積み重なれば大きなものになります。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

【下書き②】

■ やってみよう プラスチックの3 R

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをうたしかめしましょう。他にも具体的な行動が見つかったら、書き加えて実行してみましょう。

プラスチックの3 R週間 チャレンジ表

3 R	具体的な行動
減らそう	<input type="checkbox"/> バッグを持参し、レジぶくろをもらわない <input type="checkbox"/> ふたつき容器を使い、ラップの使用を減らす <input type="checkbox"/> コップから飲み、ストローを使わない
リデュース (Reduce)	<input type="checkbox"/> 水とうを持ち、ペットボトルを買う回数を減らす <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
くり返し使おう	<input type="checkbox"/> シャンプーはつめかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> 液体石けんはつめかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
リユース (Reuse)	
資げんに変えよう	<input type="checkbox"/> ペットボトルを洗い、せん用の場所にする <input type="checkbox"/> 食品用のトレイを洗い、せん用の場所にする <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
リサイクル (Recycle)	





三 岩田さんは、どのような目的で【下書き①】に続けて【下書き②】の「プラスチックの3R週間チャレンジ表」を書いていきますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 3Rの中で、どのような行動をしている人が多いのかを明らかにするため。

2 3Rをもとにして、学級のみんなが取り組んだことを紹介するため。

3 3Rを家族で分担し、自分の役割を明確にしてもらうため。

4 3Rを意識して、自分にできることを考え実行してもらうため。

四 岩田さんは、【下書き①】と【下書き②】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましよう。

(1) 部アを漢字でていねいに書きましよう。

記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深こくなえいきょうをあたえていることにアひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界の

ア	
---	--



A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

大切なことは、

五 岩田さんは、「**下書き①**」で、**A**の文の……部と  
気がつき、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、  
書き直しよう。部とがうまくつながないことに  
の中を続きを

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えを、あらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、

- 1 改らため
- 2 改ため
- 3 改め

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをうたしかめましょう。

- 1 確しかめ
- 2 確かめ
- 3 確め

(2) 部イとウを書き直したものととして適切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書き直しよう。

年	組	番	名前
---	---	---	----

3 木村さんの学級では、人と動物との心の交流が描かれている物語を友達と紹介し合うことにしました。木村さんは、椋鳩十の「金色の足あと」を選びました。次は、「物語「金色の足あと」のあらすじ」、「木村さんの考え」、「物語の最後の部分」、「ふせん①」から「ふせん④」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【物語「金色の足あと」のあらすじ】

山でつかまり、正太郎の家にとらえられた子ギツネは、人間になつかず、えさを食べようともしませんでした。子ギツネの親たちは、正太郎の家の床下に巣をつくって身をかくし、子ギツネに乳を飲ませたり、食べ物にあたえたりします。そして、子ギツネがながれた丸太をかじって、何とか助け出そうとします。正太郎は、必死に子ギツネを救おうとする親ギツネの深い愛情に心を打たれ、そっとえさをやりながら、応援していました。しかしある日、正太郎の父が、親ギツネを見つけ、銃でねらいます。正太郎は、とっさに銃身にとびつき、親ギツネを助けたのでした。

【木村さんの考え】

人と動物との心の交流は、この物語の最後の部分に一番表れていると思う。正太郎とギツネの行動や情景に気をつけてもう一度読み、心の交流が分かることをふせんにまとめよう。



木村さん

【物語の最後の部分】

そのつぎの日、学校から帰ると、きょうこそ、子ギツネを  
にがしてやろうと想着て、正太郎は納屋のほうにかけていきました。  
「や、や。」  
巣箱をのぞいてみて、かれはうろたえました。  
子ギツネがいない。かげもかたちもないのです。正太郎は、  
さっそく母屋にとびかえりました。  
「おかあさん、ころしたんじゃないでしょうね。」  
正太郎は心配そうに母を見つめました。  
「いいえ、ちょうど、ギツネを飼いたいという人があった  
ものだから、けさ、持たせてやりました。」  
「だれです、それは。」  
「それ、あの牧場の安田さん。」  
「なあんだ。」

【ふせん①】

「うろたえました」という言葉  
から、  
気持ちが伝わってくる。

正太郎はつまらなそうにいうと、しおしおと巣箱のところにもどってきました。かれはかなしそうな顔で、からっぽの巣箱の中をのぞきこみました。箱の中には、子ギツネをつないだ丸太だけがのこっていました。  
ああ、その丸太。ア その丸太は、ギツネの親たちのくるしい努力によって、もうすこしでかみきれればかりに、ほそくされていたのです。正太郎は、その丸太にさわってみました。と、かれの心に一つの考えがうかびました。  
「そうだ。子ギツネは、あの親ギツネの手にかえしてやらなければならぬ。安田さんにおねがいして、にがしてやろう。」

正太郎は元気づいて立ちあがりました。

かれは、峠をこしてむこうの、安田牧場をめがけてかけだしました。日がしずみかけていたが、いそいでいけば、暗くならぬうちにいきつけると思いました。しかし、峠のいただきにきたときには、もうすっかり暗くなっていました。かれは、さきをいそぎました。よく考えもせず、崖ぶちの雪をふみつけました。と、雪は、大きくくずれて、ド、ドウとなりながら、谷の底に落ちていきました。正太郎も、雪といっしょに、まっさかさまに落ちてしまったのです。

そのままかれは気絶しました。  
イ ずいぶん長い時間がすぎました。かれは、ほおに、なまぬるいものを感じて、そっと目をあげました。ウ すると、一びきの大ギツネが、しきりに正太郎のほおやくちびるをなめまわし、ほかの一びきは、かれのむねの上にくすぐまっつて、しきりにかれをあたたためていたのでした。

正太郎が、気づいて身動きすると、二ひきは、ぱっととびのきました。が、また、こわごわ、かれに近づいてきました。エ そして、こんどは、二ひきでかれのからだの上ののって、正太郎がこえぬようにと、あたためるようすでした。

正太郎は、じじっとまぶたのおくがあつくなるのをおぼえました。キツネたちは、このあいだ、あぶないところをたすけられたり、えさをめぐんでもらった、恩がえしをするつもりなのでしょう。

やがて夜があけました。正太郎は元気をかいふくして、心配している両親のもとに帰ってきました。両親に、このあいだからのことや、こんどのことをくわしく話すと、両親もたいへん感動したのでした。

あくる朝、正太郎は牧場からキツネをもらいうけて、父とふたりで、あの谷にでかけていって、子ギツネをはなしてやりました。

子ギツネはくさりをとかれると、ケ、カケーン。  
となきながらかけだしました。

十メートルもいくと、どこからか、さっと、あの親ギツネがかけよってきました。親ギツネは、春の雪をけちらして、うれしそうに子ギツネのまわりをはねまわりました。そして三びきは、とことこと林のほうにかけていきました。オ ちようどそのとき、まばゆい朝日に、キツネどもの足あとが、金色にかがやいて、深い林のおくにつづいていくのでありました。

【ふせん②】  
「しきりに」という言葉から、二ひきのキツネが正太郎を助けようと、必死に働きかけているすがたが分かる。

【ふせん③】  
「じじっとまぶたのおくがあつくなる」というところから、正太郎の感動が伝わってくる。

【ふせん④】  
「まばゆい朝日」と「足あとは、金色にかがやいて」というところから、正太郎がキツネたちをかがやかしいものと感じていることが分かる。

〔棕櫚十〕「金色の足あと」による。〕

一 【ふせん①】の  に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 安田さんが、子ギツネのいないことにおどろき、もらわれていったことにほっとしている
- 2 正太郎が、子ギツネのいないことにおどろき、もらわれていったことにほっとしている
- 3 安田さんが、子ギツネのいないことにおどろき、どこにいったのかを心配している
- 4 正太郎が、子ギツネのいないことにおどろき、どこにいったのかを心配している

二 木村さんは、【ふせん②】を書いたあと、文の意味をもう一度確認かくんするために、——部イとウの文を読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましよう。

- (1) 次のイの文について、~~~~部がくわしくしている言葉として適切なものを、あとの1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

イ ずいぶん長い時間がすぎました。

- 1 ずいぶん
- 2 時間が
- 3 すぎました

- (2) 次のウの文について、~~~~部がくわしくしている言葉として適切なものを、あとの1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

ウ すると、一ぴきの

大ギツネが、しきりに正太郎のほおやくちびるをなめまわし、  
ほかの一ぴきは、かれのむねの上にうすくまっまって、しきりに  
かれをあたためているのでした。

- 1 正太郎の
- 2 ほおやくちびるを
- 3 なめまわし

三 木村さんは、「ふせん③」に、「じじつとまぶたのおくがあつくなる」というところから、正太郎の感動が伝わってくる、と書きました。木村さんは、正太郎が何に感動したと考えていますか。その内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 正太郎がこごえないように、親ギツネがからだの上ののってあたためたこと。

2 正太郎が谷の底に落ちてしまいそうになったところを、親ギツネが助けたこと。

3 親ギツネが正太郎のまぶたをなめ、まぶたのおくまであたたかくなったこと。

4 親ギツネがとらえられた子ギツネを助けるために、丸太をかじり続けたこと。



四 木村さんは、——部オを——部ア、エと関係づけて読み、「ふせん④」を書きました。木村さんが「ふせん④」に、正太郎がギツネたちをかがやかしいものと感じている、と書いた理由の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 木村さんは、まばゆい朝日に照らされて、深い林のおくまで春の雪がきらきらとかがやいていると考えたから。

2 木村さんは、正太郎が親ギツネの行動に心を動かされ、ギツネの親子の幸せを喜んでいると考えたから。

3 木村さんは、「ギツネの親たち」、「二ひきで」、「ギツネども」という言葉から登場人物の様子が分かると考えたから。

4 木村さんは、朝日で金色にかがやく風景に、正太郎の父のすがすがしい気持ちが表れていると考えたから。



年	組	番	名前
---	---	---	----

1 高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いている「報告する文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告する文章】



公衆電話について

高橋 めぐみ

1 はじめに

先日外出したときに、家に電話をかけようと近くの店に行くと、あつたはずの公衆電話がなくなっていて、こままってしまいました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと思いました。町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが〈資料1〉です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分にまで減っていることが分かりました。

そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果

(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか

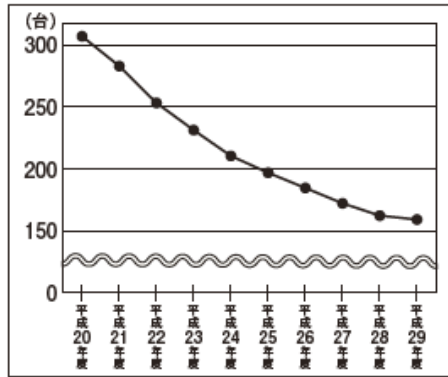
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。

そこで、地いきの人三十人を調査の「たいしよう」として、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが〈資料2〉です。「けいたい電話をわすれたときに必要」、「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。

このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

〈資料1〉

公衆電話設置台数の移り変わり



〈資料2〉

公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人



(2) 公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか  
 公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や持ちようがありました。

- ・警察署（110番）や消防署（119番）には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
- ・停電のときでも、硬貨を使って通話することができます。
- ・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。

このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができるということが分かりました。

(3) 公衆電話はどのような場所にあるのか

公衆電話を必要なきに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが〈資料3〉です。

この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

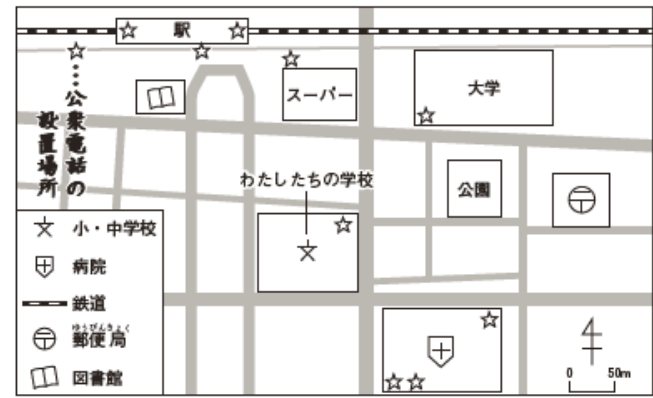
3 調査の結果をもとに考えたこと

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。なぜなら、

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかとすることも考えました。

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にかぎらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

〈資料3〉 公衆電話の設置場所を示した地図



一 高橋さんは、「報告する文章」で〈資料2〉と〈資料3〉を、それぞれのどのような目的で用いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から5までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 現在と過去の様子を並べて示し、二つのちがいを伝えるため。
- 2 内容ごとに分類して示し、大まかな持ちようを伝えるため。
- 3 年度ごとの数値をグラフで示し、移り変わりを伝えるため。
- 4 記号や印などを使って示し、実際の位置を伝えるため。
- 5 説明したい場所やものを写真で示し、実際の様子を伝えるため。

〈資料2〉……………

……………

〈資料3〉……………





四 高橋さんは、「報告する文章」を書き終え、読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっているところがあることに気がつき、書き直すことにしました。「報告する文章」の \_\_\_\_\_ 部アからウのひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

そこで、地いきの人三十人を調査の ア たいしょうとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

ア
---

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達に イ かぎらず多くの友達に伝え、公衆電話について ウ かんしんをもってもらいたいと思います。

イ
---

(らず)

ウ
---

(2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、「報告する文章」の \_\_\_\_\_ の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで」に続く五文字を書きましよう。なお、読点(、)も字数にふくみません。

公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。


そこで、

年	組	番	名前
---	---	---	----

2 宮原さんの学級では、身近な食べ物について疑問に思ったことを調べ、友達と紹介し合うことにしました。次は、宮原さんの【ノートの一部】と宮原さんが選んだ【資料】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ノートの一部】

食べ物の保存ほぞんについて

調べようと思っただきっかけ

春休みに、祖母から梅干しうめかをもらったが、それが十年前に作られたものだを知りおどろいた。十年もたつのになぜ食べられるのかと聞く、塩づけにしたり干はいしたりしているからだということだった。昔の人はくふうして食べ物を保存してきたのだと、祖母は教えてくれた。

疑問に思ったこと

- ① なぜ食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できるのか。
- ② なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか。

調べて分かったこと

- ① 食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できる理由は、  
ア
- ② 昔の人が食べ物を保存する方法を考えなければならなかった理由は、  
イ



宮原さん

## 食べ物を保存する

### ◆ 食べ物は生命の源

生き物は、食べ物がなければ生きていくことができません。食べ物を安定して確保することは、生きる上で欠かせないことです。

例えば、リスは秋になるとドングリを土にうめ、食料をたくわえます。クマはたくさんの食べ物を食べ、体に栄養をたくわえて冬眠に入ります。動物たちは、このようにして生きぬいているのです。

わたしたち人間は、食べ物を保存する技術がなかったころは、いつでもおなかを満たすことができるというわけではありませんでした。季節や天候などにより、農作物や肉、魚などが手に入らないことがあったからです。また、運よく大量の食べ物が手に入ったとしても、そのままにしておくと、くさって食べられなくなってしまうこともありました。そのため、人々は昔から様々な方法で食べ物の保存を試みてきました。失敗をくり返しながらいよいよ保存方法を獲得し、次の世代へつないできたのです。

### ◆ 保存のふしぎ

食べ物がくさる主な原因は、食べ物をくさらせる細菌が増えることです。その細菌は食べ物の水分を利用して増えます。そのため、水分が少なくなれば細菌は増えにくくなり、食べ物はくさりにくくなります。

では、水分を少なくするにはどのようにしたらよいのでしょうか。例えば、塩や砂糖を使うという方法があります。塩や砂糖には水分を吸い出す力があるので、塩や砂糖を使ってつけることで水分を少なくすることができるのです。また、かんそうさせるという方法もあります。日光や風に当てて干すことで、水分を蒸発させることができます。

これらの方法を使った保存食には次のようなものがあります。

#### 塩を使う

- ・山菜の塩づけ
- ・豚肉の塩づけ
- ・魚の塩づけ



#### 砂糖を使う

- ・果物の砂糖づけ
- ・ジャム



#### かんそうさせる

- ・切り干し大根
- ・かんぴょう
- ・こんぶ

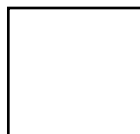


一 宮原さんは、【資料】を読み、ノートにまとめています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 「ノートの一部」の **ア** には、**疑問に思ったこと** の①の答えになる内容が入ります。

その内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 水分が多くなり、食べ物がくさりやすくなるから。
- 2 細菌が増え、水分を蒸発させることができるから。
- 3 水分が少なくなり、細菌が増えにくくなるから。
- 4 細菌が減り、水分を増やすことができるから。








年	組	番	名前
---	---	---	----

3 岸さんは、町の広報誌に取り上げられていた畳職人の大谷さんを、学級の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、「広報誌の記事」、「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【広報誌の記事】

**わが町の達人 ～第25回～**  
「部屋の床に  
畳をびたりとおさめる畳職人」



大谷さんの仕上げた畳

店主の大谷進さんは、十八歳のころに地元で畳店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継がれてきた畳作りの伝統の技を五十年間守り続けている。

部屋の床にすき間も段差もなくびたりとおさまる畳を作らせたなら、大谷さんの右に出る者がいない。通常、部屋に畳をおさめるときにはわずかな段差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整を一切せずにびたりとおさめることができる。

「私にとって、畳はとても魅力的なものです。だからこそ、五十年間も職人を続けることができたのです」と大谷さんは話す。

【直接聞いてみたいこと】

- ・大谷さんはどのような思いや考えをもって、たたみ職人を五十年間続けてきたのだろうか。
- ・大谷さんが話しているたたみのみりよくとは何だろうか。



岸さん 大谷さんが達人として紹介されている、町の広報誌の記事を読みました。今日は、大谷さんの仕事への思いや考えなどをお聞きしたいと思います。よろしく願いします。

大谷さん こちらこそ、よろしく願います。

岸さん では、早速ですが、広報誌で大谷さんは、「私にとって、畳はともみりよくてきなものですよ」とおっしゃってましたよね。どのようなところにみりよくがあると思われますか。

大谷さん 私の店の畳について言えば、全て一点物だということです。私は、機械を使わずに、細部までくふうして一枚ずつ手作業で仕上げています。ですから、完成した畳は同じように見えても、それぞれに個性があるのです。そこが私にとっての一番のみりよくですかね。

岸さん そうなのですね。それはつまり、

ア

大谷さん そうですね。部屋の大きさに合わせたり、お客様の希望や要望に応えたりするのは、職人としての腕の見せどころですからね。

岸さん 職人としての腕をみがくために、どのようなことを親方から教わったのですか。

大谷さん 親方から直接教わったことはほとんどありません。

岸さん では、どのようにして腕をみがいたのですか。

大谷さん 畳を作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。

岸さん 大谷さんは、親方の姿をよく見て技術や接し方を身につけたのですね。

大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとても不器用なので大変さはありましたが、何とか親方のようになりたいと思いつつながら、修業をしていました。

岸さん そのような思いをもっていたのですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん 思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしてきたことや心構えはありますか。

大谷さん そうですね。五十年も職人をしてますが、いまだに完ぺきだと思える仕上がりはありません。だからこそ、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

イ

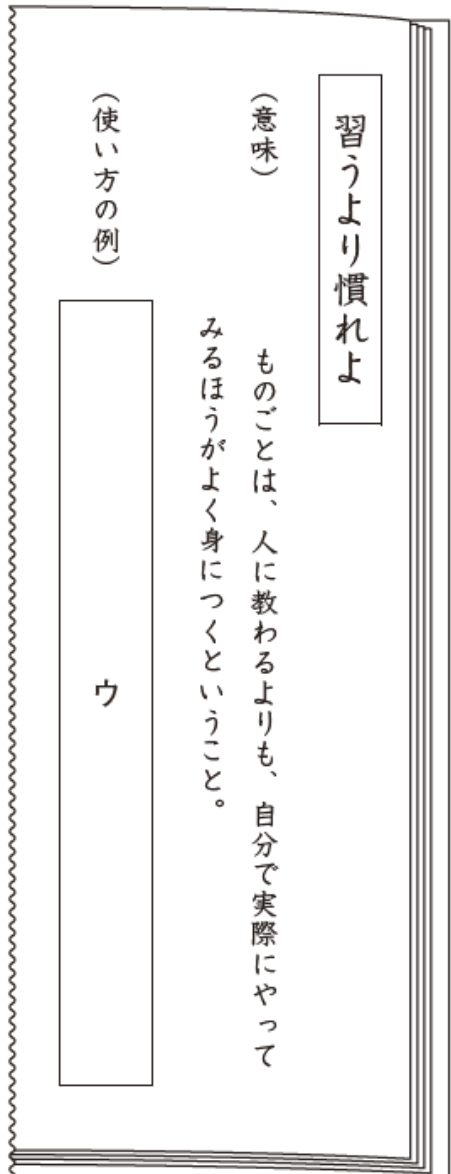
またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。



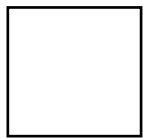


四 岸さんは、「インタビューの様子」の中の「習うより慣れよ」ということわざの意味を調べて、ノートにまとめています。次の【ノートの一部】の  ウ  に入る例として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【ノートの一部】



- 1 何度も乗って練習すれば、自転車にうまく乗れるようになるよ。習うより慣れよだよ。
- 2 どんな所でも、住み慣れればよい所だと思うようになるよ。習うより慣れよだよ。
- 3 新しいくつは最初のはきごころが悪いけれど、数日はくと足になじむよ。習うより慣れよだよ。
- 4 一生けん命がんばったから、あれこれ考えず気長に結果を待とうよ。習うより慣れよだよ。



年		組	
		番	
		名前	

2 森さんたちは、「緑のカーテン」を作るため、同じ学年の友達に協力してほしいと思い、次の【緑のカーテン作りへの協力をお願い】を書いていきます。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【緑のカーテン作りへの協力をお願い】

**緑のカーテン作りへの協力をお願い**  
6年1組 森・中村・秋山

**緑のカーテンとは**

夏が来ると、教室が暑くなってこまったことはありませんか。わたしたちは、それを解決するために緑のカーテンを作ることになりました。

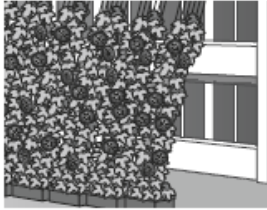
緑のカーテンとは、まどの外に植えたアサガオなどの植物で、日差しをさえぎるようにしたものです。緑のカーテンを作ると教室をすずしくすることができます。

中には布のカーテンをしめればよいという人もいるかもしれませんが、しかし、緑のカーテンを使うと布のカーテンよりも室内の温度を下げるすることができます。例えば、『緑のカーテンを始めよう』という本には、「ア」と書かれています。緑のカーテンは、夏をすずしく過ごすためのくふうの一つなのです。

**緑のカーテンの作り方**

わたしたちは、できれば1階から3階までの全教室をおおうように緑のカーテンを作りたいと考えています。そこで、次のように作ろうと思っています。

- 1 大きな植木ばちを用意し、肥料と土を入れて1階に置く。
- 2 1階から3階までネットをはる。
- 3 アサガオの種をまく。
- 4 たくさんの水をやる。
- 5 一番太いつるが1mぐらいになったら先の芽を切る。
- 6 芽が分かれてのびてきたらネットにまきつける。
- 7 7月になったら肥料を追加する。



**水やりに協力してくれる人をぼ集めます**

一 森さんたちは緑のカーテンを知らない人にも、緑のカーテンが必要な理由を伝えようと、文章の構成をくふうしました。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 夏の教室が暑いとどう困るのかの具体例を、最初に書いている。
- 2 最初と最後の段落に、水やりに協力してほしいということを書いている。
- 3 緑のカーテンの作り方について要約した文章を、最初に書いている。
- 4 緑のカーテンの説明を、緑のカーテンの作り方の前に書いている。

## 【アドバイス】

去年、わたしたちも緑のカーテンを作ったよ。おかげですずしい夏が過ごせたんだ。でも、水やりがとても大変だったなあ。

まず、毎朝水をやらないとすぐにかれてしまうんだ。朝、水やりをわすれて、昼休みにあわてて見に行ったらしおれかけていたこともあったよ。

それから、大きな緑のカーテンを作るためには、たくさんの植木ばちに水をやる必要があるんだ。植木ばちの数はどのくらい大きな緑のカーテンを作るかで変わってくるよ。

水やりは大変だったけれど、すずしい夏が過ごせて、みんなも喜んでくれて本当にうれしかったなあ。

何かこまったことがあったらいつでも相談にのるよ。がんばって作ってね。



### 水やりに協力してくれる人をば集めます

大きな緑のカーテンを作るためには水やりが大切です。しかし、水やりはとても大変です。  なぜなら、

イ

このように水やりはとても大変なので、たくさんの人の協力が必要です。協力してくれる人はわたしたちに声をかけてください。ぜひいっしょに大きな緑のカーテンを完成させ、全校ですずしい夏を過ごしましょう。

三 森さんたちは、緑のカーテンを作ったことのある中学生からの【アドバイス】をもとに、【緑のカーテン作りへの協力をお願い】の  の中を書いています。次の  の中の  イに入る内容を、あとの条件に合わせて書きましよう。

① 緑のカーテンは外から部屋に入ってくる熱をどれぐらい防ぐことができるのでしょうか。  
② 緑のカーテンでおおった場合と、布のカーテンをしめた場合とで比べてみました。③ 実験から、布のカーテンでは熱の3割わりしか防ぐことができませんが、緑のカーテンでは8割も防ぐことができます。④ 緑のカーテンでおおうことによって、冷房れいぼうの設定温度を上げることもできます。

【『緑のカーテンを始めよう』の一部】 文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

【友達の考え】

緑のカーテンでどれぐらいすずしくなるのかなあ。私は布わたのカーテンをしめればだいじょうぶだと思うよ。



二 森さんたちは、次の【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために、本から文を引用して **ア** の部分を書きました。引用するのに最も効果的な文を、あとの【『緑のカーテンを始めよう』の一部】の①から④までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。



	8	7	
エ	ア	4	<b>チャレンジ国語「知識4」</b>
3	2		
オ	イ	1	
1	1		
	ウ	2	

	6	5	
イ	ア	④	<b>チャレンジ国語「知識3」</b>
1	3		
			(例) 反省点は、用具の手入れをあまりしなかったこととです。

	4	3	
2	川上さん	山本さん	<b>チャレンジ国語「知識2」</b>
	3	5	

	2	1	
2	3	4	<b>チャレンジ国語「知識1」</b>

チャレンジ国語「活用1」

		1
	二	4
三		
（例）	いろいろな種類があるの で好み を合 わせ て	
選ぶ	ことができるので作りすぎないところ で す。	
（5 9 字）		

チャレンジ国語「活用2」

		2
	二	2
（例）	（けれども、）	
つー	プラスチックのひみど	
が石油から作られているので、自然の中 にはほとんど		
（7 8 字）		
三	4	
四	（1）	非常
（2）	イ	3
ウ		2
（例）	（大切なことは、）	
（。）		
（5 9 字）		

チャレンジ国語「活用3」

- |   |     |     |   |
|---|-----|-----|---|
|   |     |     | 3 |
|   |     | 二   | 一 |
|   |     | (1) |   |
|   |     | 2   |   |
|   | (2) | 3   |   |
| 三 |     | 1   |   |
| 四 |     | 2   |   |

チャレンジ国語「活用4」

- |   |       |       |  |
|---|-------|-------|--|
|   |       | 1     |  |
|   |       | (資料2) |  |
|   |       | 2     |  |
|   | (資料3) | 4     |  |
| 二 |       | 1     |  |
| 三 |       |       |  |
- (例) (なぜなら、) 公しゆう電話は、主に  
 けいたい電話をつかうことができないとき必  
 要とされていたり、きん急のときにも使うこと  
 ができたりするからです(63字)
- |     |   |       |
|-----|---|-------|
| 四   |   | 対象    |
| (1) | ア |       |
|     | イ | 限(らず) |
|     | ウ | 関心    |
- (2) 思いました(。そこで、)わたしは、

チャレンジ国語「活用5」

2

— (1)

3

(2)

(例) 季節や天候により、食べ物が手に入らないことや、手に入っても、そのままにしておくと、くさって食べられなくなってしまうこともあったから。(69字)

二

2

チャレンジ国語「活用6」

3

—

二

3

三

(特に、) 自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと、ちよう戦し続けているところが心に残りました。

四

1

チャレンジ国語「活用1」

2

—

二

③

4

三 (例)

な	い	の	た	や
ぜ	と	カ	く	る
な	い	ー	さ	必
ら	け	テ	ん	要
、	ね	ン	の	が
毎	い	を	植	ア
朝	し	作	木	る
水	、	る	ば	か
を	大	た	ち	ら
や	き	め	に	で
ら	な	に	水	す
な	緑	、	を	。